

発言通告書の要旨(一般質問)

平成25年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9月10日 (火)	1	24 為広員史	1、平成26年1月に行われる予定の市長選挙について	平成26年1月に行われる予定の市長選挙に出馬されるのか。出馬されるのであれば、どのような抱負を持たれているのか。
			2、瀬戸内国際芸術祭のポロシャツについて	職員有志が自費製作したようだが、なぜ予算をとって全員に配布しないのか。
			3、三豊市公害防止条例について	6月に質問させていただいたら、「7月に再度環境審議会を開催して答申が示されます」との答弁であったが、どうなったか。
	2	20 宝城 明	1、里山を生かした地域づくりについて	地域の貴重な資源である里山は多くの市民によって守られている。今後の保全活動と観光施策の方向性について
			2、三野津中学校屋内運動場改築について	(1)屋内運動場の位置について (2)整備内容について
	3	11 横山 強	1、子供の安全・安心防犯環境整備事業について	(1)三豊市がこれまでに行ってきた子供安全対策についての経緯を伺う。 (2)子供安全対策について不備はなかったのか。 ①子供の安全対策について、三豊市政(教育委員会も含む)に課せられる問題点を伺う。 ②子供の安全対策について、今後更なる強化に向けて。 (3)子供安全対策の整備において、通学路・公園・駐車場など地域の犯罪が発生しやすい特定の場所に防犯カメラの設置計画をしてはどうか。
			2、いじめ防止対策について	(1)いじめ防止対策の取り組みについて、三豊市教育委員会の学校現場に向けての指導について、伺う。 (2)いじめ防止対策としての適用となるマニュアルを作成しているのか。それについての教育者・学童・保護者に対しての指導をしているのか。また、今後の指導について、伺う。 (3)学童及び教師が関係するいじめが発覚した場合、教育委員会としての学校現場に向けての取り組みを伺う。
	4	13 川崎秀男	1、合併後7年間の主要業務の成果	(1)人口の推移 国調の17年と22年の旧7町の年少、生産年齢、老年人口 (2)基準財政収入額の推移 (3)平成19年度から24年度の主なソフト、ハード事業 (4)行財政改革の成果
			2、今後の三豊市の課題とまちづくり	(1)地方交付税の合併算定替の年度別減額と合併特例債の活用 (2)公共施設再配置計画(第1期10年計画)の実施 (3)本庁舎周辺、JR高瀬駅及び駅裏の整備 (4)三豊市総合5カ年計画及び農業振興5カ年計画の骨子

発言通告書の要旨(一般質問)

平成25年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9月10日 (火)	5	3 浜口恭行	1、危険家屋の空き家などの取り扱いについて	市内にある老朽、危険家屋の取り扱いについて、空き家の適正管理条例が全国的に制定されているが、今後の当局の考えを聞きたい。
			2、箱浦小学校の統廃合について	地域のシンボルである箱浦小学校の今後の統廃合計画について、ハードやソフトも含めて当局の考えを聞きたい。
9月11日 (水)	7	21 鴨田 偲	1、高瀬駅の改修について	市長の考えを伺う
			2、高瀬町公民館、図書館の改築について	(1)施設の所管の長である、教育長の考えを伺う (2)庁舎周辺整備計画の中で、高瀬町公民館、図書館の位置付け及び改築について、市長の考えを伺う
			3、爺神山、汐木山の再生について	この2つの山の頂上付近は非常に危険な状況になっているが、行政指導で再生してはどうか、市長の考えを伺う
	8	22 小林照武	1、老朽ため池の防災計画について	(1)24年度実施の老朽ため池に係る実態調査結果について問う。 (2)中山間地域ため池等整備事業に対して、どのような取り組み対応をされておられるのか。また、申請受付件数について問う。 (3)先にコンサル委託で把握されている市内700トン以下の危険ため池の数について問う。また、これら危険ため池管理者を対象に実施されたアンケート結果について問う。 (4)県が25年から実施の5000トン未満の農家負担10%の小規模ため池防災対策特別事業への取り組み対応について問う。また、現段階での受付件数及びその見通しについて問う。 (5)三豊市内ため池への耐震補強へ向けての現状なり、取り組み姿勢について問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成25年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9月11日 (水)	9	2 込山文吉	1、業務委託業者選定について	<p>大型プロジェクト事業が目白押しのため、三豊市の業務委託業者決定選択にプロポーザル方式が多く使われている。しかしながら、うまく機能していないところもうかがえる。社会の情勢も大きく変化してきている。</p> <p>(1) 今後の課題をどう捉えておられるのか。考えをお聞きする。</p> <p>(2) プロジェクト事業の先進地視察など、担当部署の前段階で準備が必要と考えます。担当者がどういった視察・研修をされてきたのか、具体的にお聞きする。</p> <p>(3) 学校施設は災害時の避難所としての機能も要求される。しかし、従来と変わっているように思えない。教育委員会と総務部の連携はうまく機能しているのか。状況をお聞きする。</p>
			2、土地開発公社について	<p>第三セクター・土地開発公社等の抜本改革をすすめるため、時限的な地方債の特例制度を地方財政法33条の5の7(公営企業の廃止等に係る地方債の特例)で定め、負債処理に第三セクター等改革推進債の発行を平成21年～25年度で認めている。この第三セクター等改革推進債を活用して、土地開発公社を解散すべきと考えるが、市長の考えをお聞きする。</p>
			3、教育施設非構造部材点検について	<p>文部科学省は8月20日付け事務連絡により、平成25年度当初予算に係る学校施設環境改善交付金の新規事業の募集を行っている。市内10校の屋内運動場が吊天井構造であるとお聞きした。</p> <p>今回の対象事業は非構造部材の耐震化工事(吊天井の撤去含む)の推進が主目的である。募集に申請し吊天井落下防止対策等、非構造部材の耐震化事業を前倒しすべきと考える。考えをお聞きする。</p>
	10	4 瀧本文子	<p>子どもやお年寄り、障害者に優しいまちづくりを</p> <p>1、学童保育クラブについて</p>	<p>「仕事と子育てを両立したい」「わが子に安全で生き生きとした放課後を」という親の願いから生まれた放課後学童保育は、三豊市において、25小学校区すべてに設置され、約千人のこどもたちが利用している。5年前に開設され、当時は新しくゼロからの出発のところも多く、子育て支援課などの大変な努力のなかで現在にいたっている。国の法整備の不十分さ、入所希望者の増加の気配など、課題は多く、まだまだ「発展途上」にあるといえる。いくつか三豊市の課題について質問する。</p> <p>(1) 防災対応の考え方 災害マニュアル、防災無線の整備、防災訓練等</p> <p>(2) 学童室の環境・格差について 学童室の格差(広さ、備品など)、耐震の状況</p> <p>(3) 発達障害児等の対応 発達障害児等の現状と対応</p> <p>(4) 仁尾小・学童移転について 今後の移転計画の概要</p> <p>(5) 新設小の学童室のあり方 新設小学校(財田、山本)開校に伴う、学童保育室のあり方</p>
			2、「福祉バス」の運用について	<p>お年寄りをはじめとして、障害者や学校等の行事の際に送迎等で役割を担ってきた「福祉バス」であるが、運用の幅がかなり制約されるとお聞きした。</p> <p>(1) その経緯・経過について</p> <p>(2) 住民サービスを低下させない方策について</p>

発言通告書の要旨(一般質問)

平成25年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9月11日 (水)	11	8 詫間政司	1、乳幼児期の子育て・教育について	「三つ子の魂百まで」の言葉があるように、乳幼児期の子育て・教育は、人の成長に大いに影響があるといわれている。自己管理能力や学校の成績は、幼少期の我慢強さから自己抑制する能力による忍耐力と関連があるとの研究結果がある。性質・健康・知力等、生きる原点を成す乳幼児期の子育て・教育の考えについて問う。
			2、学校図書館充実と司書配置計画について	平成25年度より市内においては大きな2つの既存小学校に配置されており、「いつも人がいて、いつも開いている」ことで非常によろこばれていると聞く。今後の方向性として、統合新設小学校に順次配置すると、前回の質問の答弁であった。現在2つの小学校建設計画が進んでいるが、学校図書館充実と司書配置計画について問う。 (1)学校図書館間のデータベース化 (2)統合新設校開校の少なくとも1年前からの既存校兼務配置 (3)学校図書館設計時点から、学校図書館司書の意見取り入れ
	12	26 多田 治	1、特区取得による産業支援について	(1)構造改革特別区域の申請は可能か (2002年に小泉内閣が開始した構造改革特別地域は2013年5月までに1,197件が認定された。本市ではどんな対応をしているのか) (2)市内で特区を取得し産業活性化に繋げては (市内でもユニークな生産活動に取り組んでいるグループがあるが、特区が認定されれば支援に繋がるか) (3)特区取り組み関心度を尋ねる (市として認定を本気で考えてはどうか?)
			2、職員の懲戒処分に関して	(1)懲戒審査委員会規定の見直しを考えるべきでは (委員4名では少ないのではないのか) (2)毎日新聞(8月20日付け)記事の詳細を尋ねる 見出し『免職復帰も給与押収・県人事委員会採決に市同意せず』 (給与差し押さえにいたる経緯と理事会の関与はどうか? 後に問題を残さないか?) (3)公用車による交通事故で多額の損害賠償金を支払った際の処分は (公用車で事故で過失割合が90%以上市職員側にあり100万円以上賠償したケースが平成23年度には3件あったが懲戒審査委員会にかけたのか。〈最高489万円〉)
9月12日 (木)	13	7 前川 勉	1、行政改革について	行政改革推進プランの11%に組み込みの遅れがある。進行管理のチェックや取り組みが杜撰になっているように思う。これまで、どのように指導し対応してきたのか問う。
			2、生活道路について	市道路認定の見直しが進まないのは、受け皿である生活道路の位置づけが曖昧ではないのか。生活道路にも基準や規定を設ける必要があるのではないかと、考えを問う。
	14	14 金子辰男	1、ふるさと納税について	地方税法の一部改正により寄付金税制が拡充され、自治体への寄付金のうち2,000円を超える部分について、個人住民税、確定申告時に税金から差し引くことができる制度。市はこの制度をどのように活用しているのか、今後の活用は。
			2、森林セラピーについて	魅力ある森林景観づくり、森の持ついやし効果、市民の健康増進につながる、医療福祉面だけでなくイノシシ等対策にもつながる森林セラピー事業を推進しないのか。

発言通告書の要旨(一般質問)

平成25年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9月12日 (木)	15	10 岩田秀樹	1、消費税増税が実施された場合の市及び市民への影響は	GDPはプラス成長しているかのように見えるが、公共投資が大きなウェイトを占めている。全国小企業月次動向調査は連続で売り上げ指数はマイナス指数を悪化。個人消費の増加を言うが物価は上がり、賃金は下がる。このような状況で消費税増税を図るのは、生活破壊を招く。消費税を導入しないで経済再建を図るべきである。
			2、風疹予防接種費用の助成について	安心して子どもを産み育てることができるよう、23歳～49歳の男女、妊婦の同居家族に対して風疹予防接種費用の助成をできないか。流行は政策の遅れであり、患者数はOECDで1位となっており対策が求められる。
			3、保育所民営化について	市民要望はどう確認したのか。21世紀出生時縦断調査では利用したい保育サービスでは、認可保育所約75%。多様な保育ニーズの対応は現行制度でも実現可能。民営化が安い経費で終わるのは人件費を安くしているから。
			4、指定管理者の管理状況を明確に	指定管理者の指定には議会の同意が必要である。再指定の場合、点数制の導入など条例等で定めることを求める。表面化しない事故などがあっても、わからずにそのまま再指定されることが多いのではないか。
	16	1 水本真奈美	1、災害時要援護者の避難対策について	東日本大震災の教訓を踏まえ、平成25年「災害対策基本法」が改正され、これに基づき、実効性のある要援護者の避難支援対策が求められている。三豊市の取り組みを伺う。 (1) 発災時の個別の避難支援、避難行動計画策定について (2) 避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針について
			2、男性介護者の支援について	(1) 本市における男性介護者は何人か、実態を伺う。 (2) 介護する方が、周囲から偏見や誤解を受けないように介護マークの導入の考えを伺う。
			3、選挙投票について	(1) 今回から本市の期日前投票所、選挙当日の投票所が減少となった。投票率はどうかであったか、特に投票所変更となった地域の投票率の実態と課題を伺う。 (2) 期日前投票宣誓書の投票入場券の裏面印刷およびホームページ掲載について (3) 病院・福祉施設での不在者投票環境について (4) 高齢者投票者に対する配慮について
	17	5 西山彰人	1、市民の意見反映について	市長は、選挙で市民に諮らずに政策を大きく変更することがあるが、次回の選挙に際し市民に政策を問うか伺う
			2、市職員の給与の削減について	市職員の給与を削減するが、「国が市に対して職員給与の削減を迫るのは間違い」と発言していた市長の考えが変化したのか伺う
			3、市の機関について	香川県人事委員会の裁定で市に大きな損害があったが、「機関決定での処分なので市長に直接責任はない」と発言したが、その根拠を伺う
			4、学校の統廃合と給食センター2カ所化について	市民の声が届いていないと思われるが、市長の考えを伺う
			5、保育所の適正な人員について	高瀬中央保育所を増設し、現在120名の定員を150人にするとの計画が進んでいるが、望ましい乳幼児数は60人から90人と思われるが、市長の考えを伺う

発言通告書の要旨(一般質問)

平成25年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9月12日 (木)	18	6 三木秀樹	1、職員の給与削減に関して、市長の考えを聞く	市長は、この間「国からの介入は地方分権時代に逆行する」と内外で発言してきたが、市長の今回の職員給与カット問題に対する判断基準を聞く。 (1) 交付税確定日(7月23日)の翌日(24日)に組合に給与削減提案をした点 (2) 地方の財源である交付税を「人質」することは違法であるとしながらも、三役の給与カットを行うとした点 (3) 給与カット問題が、市の経済にマイナス影響を与えるにもかかわらず実施した点
			2、三豊市社会福祉協議会の福祉バスの違法運行とその要因と改善策を聞く	市長に聞く (1) 「うらしま」号の車検切れと同時に社協の職員の総意は「廃止」にもかかわらず、市の方針だからと無理してでも運行を強要したのは何故か。 (2) 違法運行(道路運送法違反、道路交通法違反等)を早くから知っていながら(平成23年3月末)改善せず、今年6月4日以後も法無視の「言動」は何を根拠に四国運輸局の指導に従おうとしないのか。 (3) 違法運行を議会に報告せず、新車購入の議決を導き出させた責任、7月11日の社協理事会での会長(市長)の違法発言等から、違法の改善が見られないがその責任と改善策を聞く。
			3、再度職員の「駐車料金」問題について聞く	2008(平成20)年9月議会で「駐車場有料化」問題を質問したが、再度聞く。 職員が働きやすい条件を確保するのは雇用主に課せられた義務、三豊市の行財政、市の新たな負担面から職員全体と考えている、組合との協議は重視等の返答が前回あった。今回の「料金徴収」問題は近隣自治体がやっているから程度の返答で無くその根拠を数点聞く。